

## ルートの説明

### 1. 信濃町駅

1894（明治27）年開業。南西へ下ると青山練兵場があり、広く軍事に関わる歴史を持つ。



### 2. 明治記念館本館：旧赤坂御所御会食所



### 3. 御観兵榎

明治天皇が、閱兵の際に常に御座を置いた場所。現在の榎（エノキ）は二代目で、その跡を示している。



### 4. 聖徳記念絵画館前広場・銀杏並木

(\*表紙の写真)

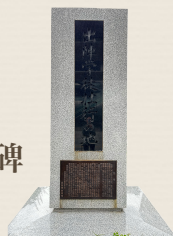


### 5. 明治公園： 霞ヶ丘アパート跡



### 6. 出征学徒壮行の地碑

国立競技場の一角に立つ碑。戦時下の記憶は、今の賑わいの中に静かに埋もれている。



### 7. 葬場殿址

明治天皇の大喪の礼の葬場殿が置かれた場所。聖徳記念絵画館の背後に、その歴史が静かに残る。



## より楽しむためのミニ情報

- 2. 明治記念館本館：旧赤坂御所御会食所  
JR信濃町駅から徒歩約3分。正門には警備員がいますが、庭園も館内も自由に見学できます。ぜひゆっくり散策を♪
- 3. 御観兵榎  
公開時間は 9:00～16:30。訪問の際は時間に注意！ 隣には東郷平八郎の題字による石碑もあります。
- 6. 出征学徒壮行の地碑  
国立競技場でイベントがある時、この碑はどんな雰囲気だろう？ 敷地の端にある位置も想像してみよう。



詳しい情報を知りたい方はこちらへ！



デザイン：亀山愛華、N・Y、成澤椿 / 協力：高谷英克 / 監修：北條勝貴

上智学院ソフィア・アーカイブズ  
上智大学四谷キャンパス 中央図書館9階  
ご利用を希望される際は  
必ず事前にお問合せください。

TEL: 03-3238-3294

E-mail: sophia-archives-co@sophia.ac.jp

# 史層をひらく — 四ツ谷と戦争 — 神宮外苑



所要時間：約90分

江戸時代、享保の改革時に火薬庫が増強されたこの地は、戦時中の東京大空襲でも多くの人が避難した場所でした。本コースでは、明治神宮外苑に刻まれた天皇制・宗教・国家の関係をたどり、オリンピックや並木伐採など、現代にも続く社会的課題を通してその歴史を見つめます。

※「出征学徒壮行の地碑」へは階段またはエレベーターを利用できます。イベント時は混雑にご注意ください。

## おすすめ史跡スポットTOP3

### 2. 明治記念館本館：旧赤坂御所御会食所

ドイツ人顧問ロエスレルらの助言を得、伊藤博文らによる大日本帝国憲法草案の御前会議が行われた。「法律ノ範囲内」において臣民の権利が規定されていたため、基本的人権が十分尊重されておらず※1、天皇大権の各補弼機関の相互関係も定められなかったため、内閣総理大臣は陸海軍大臣ら各国務大臣と同等の地位にあった※2。戦争を語るに外せない。

※1参議院憲法審査会 ※2一般社団法人平和政策研究所による

### 4. 聖徳記念絵画館前広場・銀杏並木

1923（大正12）年の関東大震災後に植えられた銀杏並木は、水分量の多さから防火の「火除け木」として期待された。4年に一度、円錐形に剪定されるその姿は、日本の自然との共生という理念とは対照的に、人の手が作り出す「人工自然」といえる。並木の先に立つ聖徳記念絵画館は、遠近法の中心に位置し、左右対称の構造を強調している。



### 5. 明治公園：霞ヶ丘アパート跡

東京大空襲で家を失った人々が身を寄せたバラックが建っていたが、1964（昭和39）年東京五輪の際に取り壊され、代わりに霞ヶ丘アパートが建てられた。さらに、2020（令和2）年東京五輪による競技場の拡張と公園の整備により、住民は再び立ち退きを余儀なくされた。移転先の提供はあったが、行政による強引な対応も見られたという。現在の賑わう憩いの場の中に、戦争の痕跡とそこに生きた人々の記憶が静かに息づいている。

